

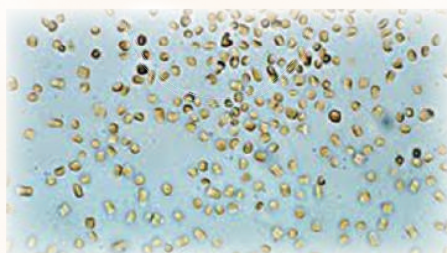
Chaetoceros calcitrans Extract

ケトセロスエキス

フコキサンチンを含む
微細藻類ケトセロスカルシトランスのエキス

フコキサンチンとは？

- カロテノイドの一種（アスタキサンチンとは別のカロテノイド系化合物）
- 非プロビタミンA
- 海藻中では主に補助色素として光合成に関与
- 大型海藻における含有量は0.001%程度の希少成分



期待される機能

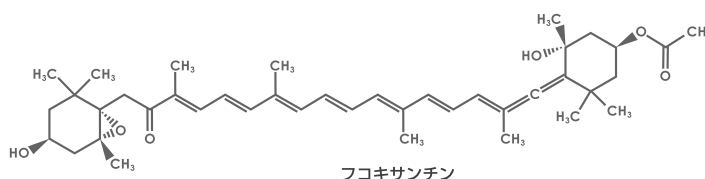
メラニン産生抑制

アンチエイジング

抗しわ

抗たるみ

抗酸化



パナックがお届けできる安心感

- 国内の提携先にて閉鎖系の培養装置にて大量培養しております。
- 国内にてエキス化し、原料としてご提供が可能な体制を整えています。
- 閉鎖系での培養なので、他の微生物のコンタミネーションを極力抑える事が出来ます。
- 各種安全性試験を実施しております。

製造元：パナック株式会社藻類事業プロジェクト

bio-science@panac.co.jp

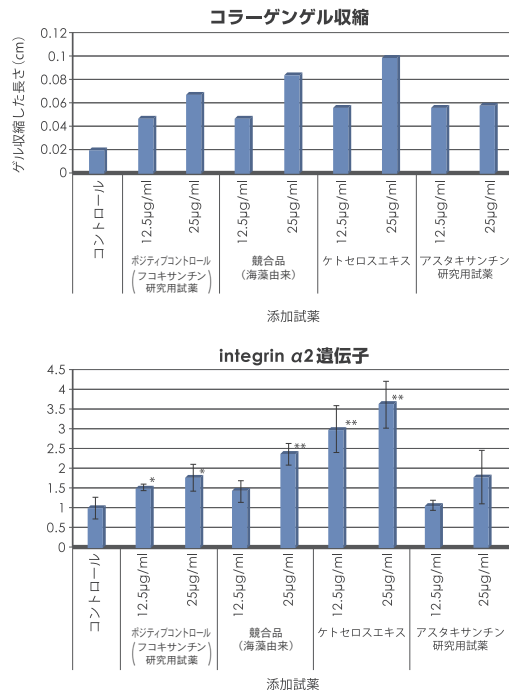


パナック株式会社

〒108-0023 東京都港区芝浦3丁目1番1号田町ステーションタワーN 33階 TEL: 03-6630-8702 FAX: 03-6630-8711

ケトセロスエキス

抗しわ・抗たるみ試験



コラーゲンゲルを用いた実験では、微細藻類ケトセロスエキスでゲルの直径が収縮しました。その効果はアスタキサンチンよりも強いことが明らかとなりました。

これは、integrin α2のmRNA発現量が増加したことによりヒト線維芽細胞とコラーゲン繊維との接着性が高まり、ゲルの収縮が促進されたと考えられます。

これらの結果から
ケトセロスエキスには
線維芽細胞を活性化させ、
**インテグリン遺伝子の発現を
促進することで、シワ、タルミに
対して効果が期待できます。**

メラニン合成抑制効果

	MC1R	MITF	Tyrosinase	TRP-1	TRP-2
ポジティブコントロール	↑	↓	↓	↓	↓
競合品 (海藻由来)	→	↑	→	→	↑
ケトセロスエキス	↑	↓	↓	↓	↑

メラニン生成に関与する遺伝子に対する各種のフコキシサンチン含有原料の作用を調べた結果、各種遺伝子のmRNAの発現量を減少させる作用を確認しました。(海藻由来のものでは確認できない)

チロシナーゼとTRP-1のmRNAの発現量を減少させる作用がありました。

以上の結果から、ケトセロスエキスには、メラニン生成系に関与する遺伝子の発現を抑制することで、**メラニン合成抑制作用が期待できます。**

【製造販売】

【お問合せ】



パナック株式会社

〒108-0023 東京都港区芝浦3丁目1番1号
田町ステーションタワーN 33階

TEL: 03-6630-8702
FAX: 03-6630-8711